



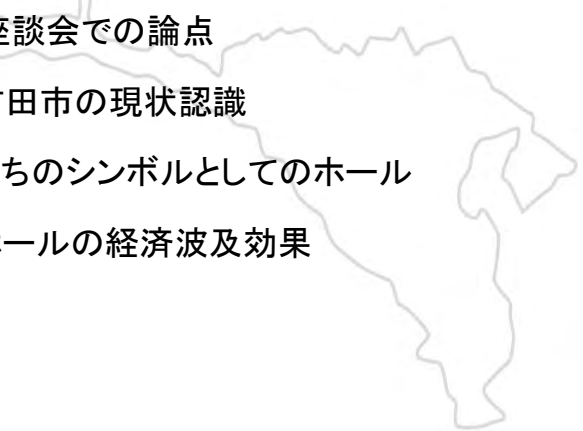
第2回文化芸術によるまちづくり座談会 ～文化芸術ホールとまちづくり～

0. 報告の流れと目次

- 前半
 1. 第1回座談会での論点
 2. まちのシンボルとしてのホール
 3. 委員による事例紹介(1)
- 後半
 4. ホールのあるまち(都市開発の視点)
 5. 文化芸術都市を標榜したまちづくり
 6. ホールと地域経済
 7. 委員による事例紹介(2)

1. 第1回座談会のふり返り

○ 目次

- ① 第1回座談会での論点
 - ② 論点:町田市の現状認識
 - ③ 論点:まちのシンボルとしてのホール
 - ④ 論点:ホールの経済波及効果
- 

1. 第1回座談会のふり返り

① 第1回座談会での論点

- 主に今回の座談会にかかわる論点
 - 町田市の現状認識
 - まちのシンボルとしてのホール
 - ホールの経済波及効果
- 次回以降の論点
 - 文化振興を重視したホール運営
 - 市民の誇りとなるホール
 - シティプロモーションに資するホール
 - 広域的なマーケティングの視点の必要性
 - 駅からのアクセスと集客

1. 第1回座談会のふり返り

② 論点: 町田市の現状認識

- 立地について
 - 新宿、横浜、相模原におよぶ広域的な交通の要所である
 - 商圏として十分に成り立っている
 - 周辺の人口が多い(10km圏域200万人)はアドバンテージである
 - 周辺自治体に高水準の音響性能や機能性のあるホールがないこともアドバンテージ
- 町田市における文化芸術、ホール
 - スポーツは充実しているが、文化芸術は取組む余地がある

1. 第1回座談会のふり返り

③ 論点: まちのシンボルとしてのホール

- まちのシンボル
 - 市内外に対してホールが町田のシンボルとなることが大切である
 - まちの価値を高めるホールのあり方を示してもらいたい
- 市民の誇り、拠り所となるホール
 - 市民の誇りとなるホールの在り方を考える必要がある
 - 市民の文化的な拠り所が求められている
 - 町田市民に「町田にはこのホールがある」と思えるようなものが臨まれる

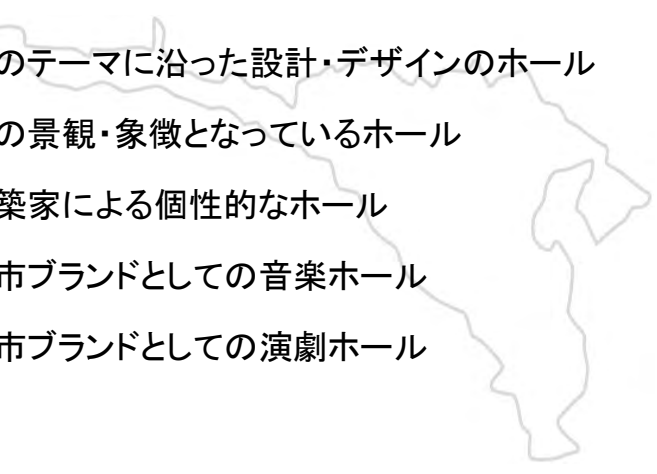
1. 第1回座談会のふり返り

④ 論点：ホールの経済波及効果

- ホールに対する財政負担
 - 公共事業に市民が参画し、収支の黒字化を目指すべきである
 - ホールにとって黒字がどのような状況が整理する必要がある
 - 市民理解が得られる財政負担の範囲を検討すべきだ
- まちの経済効果も含めた「黒字」
 - 一般企業の黒字・赤字という考え方とは異なる
 - ホールのまちづくりへの貢献を経済効果として、収支を考えるべき
 - ホールがまちの品格となり、ブランディングへの効果もありえる

2. まちのシンボルとしてのホール

○ 目次

- ① 街のテーマに沿った設計・デザインのホール
 - ② 街の景観・象徴となっているホール
 - ③ 建築家による個性的なホール
 - ④ 都市ブランドとしての音楽ホール
 - ⑤ 都市ブランドとしての演劇ホール
- 

2. まちのシンボルとしてのホール

① 街のテーマに沿った設計・デザインのホール

- 大船渡リアスホール(岩手県大船渡市)
 - 三陸海岸をモチーフにした外観
 - 設計=新居千秋建築設計事務所



9

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

2. まちのシンボルとしてのホール

① 街のテーマに沿った設計・デザインのホール

- ミューザ川崎シンフォニーホール(神奈川県川崎市)
 - 音楽の街を目指して音符のかたちをモチーフとした
 - 設計=都市基盤整備公団、松田平田建築事務所



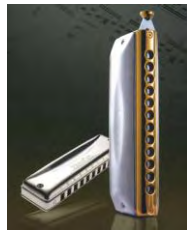
10

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

2. まちのシンボルとしてのホール

① 街のテーマに沿った設計・デザインのホール

- アクトシティ浜松(静岡県浜松市)
 - 楽器の街としてハーモニカを模したタワー
 - 設計=日本設計



11

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

2. まちのシンボルとしてのホール

② 街の景観、象徴となっているホール

- シドニー・オペラハウス(シドニー/オーストラリア)
 - シドニーならびにオーストラリアのシンボル
 - 設計=ヨーン・ウツソン



12

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

2. まちのシンボルとしてのホール

② 街の景観、象徴となっているホール

- 歌舞伎座(東京都中央区)
 - 歌舞伎の殿堂であり、銀座のシンボル
 - 設計＝三菱地所設計＋隈研吾建築都市設計事務所



13

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

2. まちのシンボルとしてのホール

③ 建築家による個性的なデザインのホール

- 座・高円寺(杉並区)
 - 薄い鋼板(内側はコンクリート)のテント小屋のような佇まい
 - 設計＝伊東豊雄建築設計事務所



14

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

2. まちのシンボルとしてのホール

③ 建築家による個性的なデザインのホール

- ウォルトディズニー・コンサートホール(ロサンゼルス／米国)
 - 湾曲した壁面が特徴的な概観
 - 設計=フランク・O・ゲーリー



15

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

2. まちのシンボルとしてのホール

③ 建築家による個性的なデザインのホール

- カサ・デ・ムジカ(ポルト市／ポルトガル)
 - 躯体が地面から立ち上がる外観デザイン
 - 設計=OMA/AMO(レム・コールハース)



16

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

2. まちのシンボルとしてのホール

④ 都市ブランドとしての音楽ホール

- ミューザ川崎シンフォニーホール
 - 音楽専用ホール(2004年開館)
 - ヴァインヤード型のホール(1,997席)を有する
 - 「工業都市」から「音楽のまち」への転換する川崎のシンボル
 - 都心立地の優位性を活かし、世界的なオーケストラ演奏にも対応可能
 - 高度な音響設計がされ、海外の演奏家たちからも評価が高い
 - 2002年に東京交響楽団とフランチャイズ契約を結ぶ
 - 2011年より、世界的に有名なモントルー・ジャズ・フェスティバルを誘致



17

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

2. まちのシンボルとしてのホール

④ 都市ブランドとしての音楽ホール

- アクトシティ浜松(静岡県浜松市)
 - コンサートホールとコンベンションホテルの複合施設(1995年開館)
 - 大ホール(2,336席)、中ホール(1,030席)を有する
 - 「楽器の街」から「音楽文化が薫る街」へ(音楽文化都市構想)
 - 音楽文化都市構想、国際コンベンションシティ構想、浜松テクノポリスの3本柱の拠点施設
 - 4面舞台を有する大ホールとクラシック音楽に最適な中ホール
 - 国際ピアノコンテスト、国際オペラコンテストを開催
 - 育成プログラム「国際ピアノアカデミー」(中村紘子監修)も実施



18

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

2. まちのシンボルとしてのホール

④ 都市ブランドとしての音楽ホール

- 石川県立音楽堂(石川県金沢市)
 - 音楽を中心としたホール(2001年開館)
 - コンサートホール(1,620席)、邦楽ホール(720席)
 - 1988年、指揮者・岩城裕之の協力の下、日本ではじめての室内管弦楽団「オーケストラアンサンブル金沢」の拠点
 - 設立10年後にホールの建設を検討するという、ハード事業よりも芸術創造のソフト事業が先行した事例
 - 2008年よりラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭(ナント市/フランス)を東京・新潟等と開催
 - 1998年より、若手音楽家の育成を目的とした「いしかわミュージックアカデミー」を開催



19

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

2. まちのシンボルとしてのホール

⑤ 都市ブランドとしての演劇ホール

- 能登演劇堂(石川県七尾市)
 - 演劇専用劇場(1995年開館)
 - ホール(651席)は舞台後壁が開閉する
 - 1983年より、俳優仲代達矢氏が主宰する無名塾の合宿地としていた
 - 地元住民が無名塾の演劇を見たいという声が上がリ、建設に至った(ソフト先行)
 - 「演劇の町」構想の中核施設
 - 劇団が滞在するロングラン公演が特徴
 - 石川県立中島高等学校演劇コースを設立し、練習場や卒業公演の舞台としてホールを提供している



20

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

2. まちのシンボルとしてのホール

⑤ 都市ブランドとしての演劇ホール

- 宝塚大劇場(兵庫県宝塚市)
 - オーケストラピットを持った多目的ホール(1924年開館、現在のホールは1993年開館)
 - 大ホール(2,550席)、小ホール(約500名)を有する
 - 宝塚歌劇団が拠点とするホール、歌劇の町として広く認知される
 - 主として宝塚歌劇団のミュージカル公演を上演するほか、音楽コンサート等も行う
 - 小ホールでは、一人芝居やワークショップ歌劇団による実験的な取組が行われている



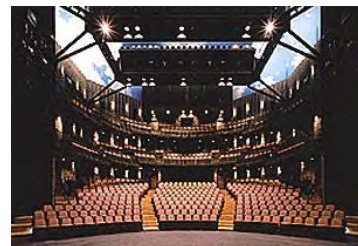
21

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

2. まちのシンボルとしてのホール

⑤ 都市ブランドとしての演劇ホール

- 世田谷パブリックシアター／シアターラム(世田谷区)
 - 舞台芸術に特化した専門劇場(1997年開館)
 - 主劇場・世田谷パブリックシアター(600席)と小劇場シアターラム(200席)を有する
 - 芸術監督や学芸部門を有し、自主企画・提携・招聘・共同制作といった形態での上演事業を実施
 - 演劇・ダンスのワークショップやレクチャーといった市民向け講座や舞台技術者養成講座などのアウトリーチプログラムを実施
 - 区立小中学校への出張プログラムも実施し、観客育成にも取り組む



22

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

3. 委員からの事例紹介(1)

○ 目次

- ① 水戸芸術館(茨城県水戸市):美山委員
- ② かなっくホール(神奈川県横浜市):伊藤委員

23

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

4. ホールのあるまち(都市開発の視点)

○ 目次

- ① ホールのあるまち(都市開発の視点)
- ② 駅前とホール
- ③ 街区となるホール
- ④ 町田駅前の再開発

24

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

4. ホールのあるまち(都市開発の視点)

① ホールのあるまち(都市開発の視点)

- 駅前とホール
 - 駅前再開発における文化拠点として整備されることが多い
 - 集客施設と併設することで商業施設への効果も見込むことができる
- 都市公園とホール
 - 都市公園に隣接して建設されることも多い
 - 都市の文化交流拠点として文化施設が集積することが多い
- 街区となるホール
 - 公開空地などを有し、ホール自体が街区となる事例も少なくない
 - 目的地ではなく、人の往来のなかにホールを置くイメージ

25

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

4. ホールのあるまち(都市開発の視点)

② 駅前とホール

- ミューザ川崎シンフォニーホール
 - オフィス・商業テナントを含むテナントビルの線路側に位置する
 - JR川崎駅西口からペDESTリアンデッキで連結



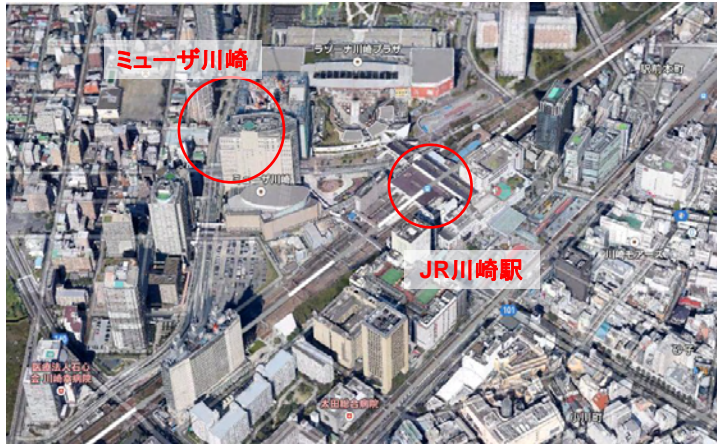
26

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

4. ホールのあるまち(都市開発の視点)

② 駅前とホール

- ミューザ川崎シンフォニーホール



27

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

4. ホールのあるまち(都市開発の視点)

② 駅前とホール

- オリンパスホール八王子
 - 商業施設と併設する多目的ホール
 - 2,021席のホールを有する
 - JR八王子駅前のペDESTリアンデッキに直結



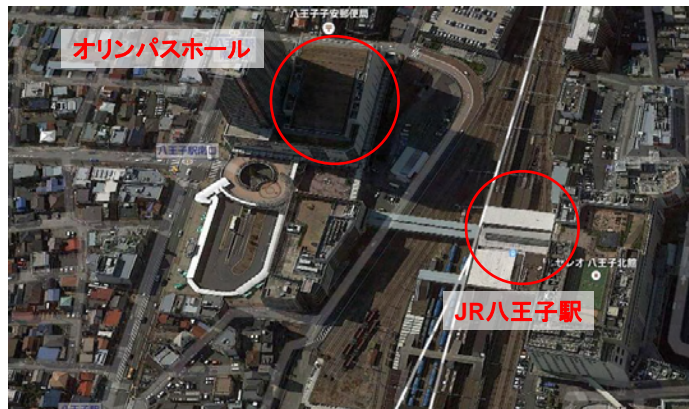
28

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

4. ホールのあるまち(都市開発の視点)

② 駅前とホール

- オリジナルホール八王子



29

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

4. ホールのあるまち(都市開発の視点)

② 駅前とホール

- リリア川口(川口総合文化センター)
 - 多目的ホール(2,002席)を有する文化センター(1990年開館)
 - そのほか音楽ホール(600席)を有する
 - JR川口駅からペDESTリアンデッキで接続
 - テナントなどを併設しない単館施設



30

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

4. ホールのあるまち(都市開発の視点)

② 駅前とホール

- リリア川口(川口総合文化センター)



31

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

4. ホールのあるまち(都市開発の視点)

③ 都市公園とホール

- アクロス福岡(福岡県福岡市)
 - ホールと商業テナントの複合施設(1990年開館)
 - 音楽専用の福岡シンフォニーホール(1,867席)を有する
 - 山を意識して傾斜したファサードを緑化し、公園と一体になったランドスケープを生み出す



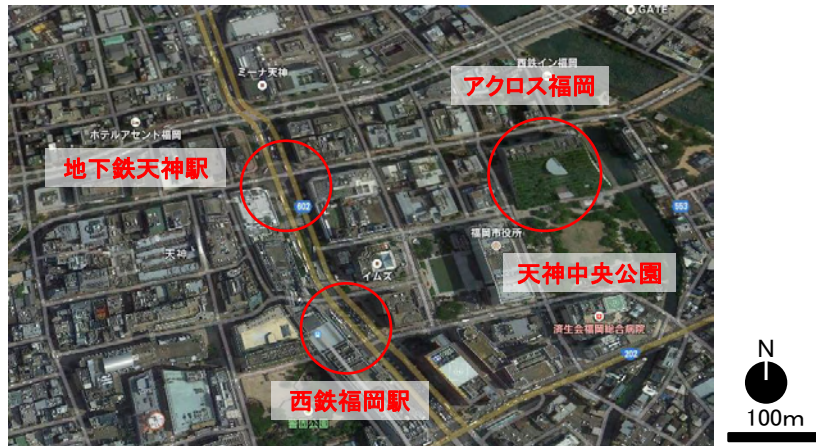
32

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

4. ホールのあるまち(都市開発の視点)

③ 都市公園とホール

- アクロス福岡



33

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

4. ホールのあるまち(都市開発の視点)

③ 都市公園とホール

- 府中の森芸術劇場(府中市)

- それぞれ個性のある3つのホールを有する(1991年開館)
- オーケストラピットを備えたドリームホール(2,027席)／シューボックス型のホール(522席)／プロセニウム形式のホール(504席)
- 都立府中の森公園に隣接する



34

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

4. ホールのあるまち(都市開発の視点)

③ 都市公園とホール

● 府中の森芸術劇場



35

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

4. ホールのあるまち(都市開発の視点)

④ 街区となるホール

● 東京国際フォーラム(東京都)

- 7つのホールと展示スペースを有する複合型ホール(1997年開館)
- ホールA(5,012席)、ホールB7(平土間、最大1,200席)、ホールB5(平土間、最大480席)、ホールC(1,502席)、ホールD7(平土間、最大240席)、ホールD5(平土間、最大200席)を有する
- 地下にホールを有する巨大がガラス棟とホールのあいだに公開空地があり、オフィス街の公園として人が行き交う



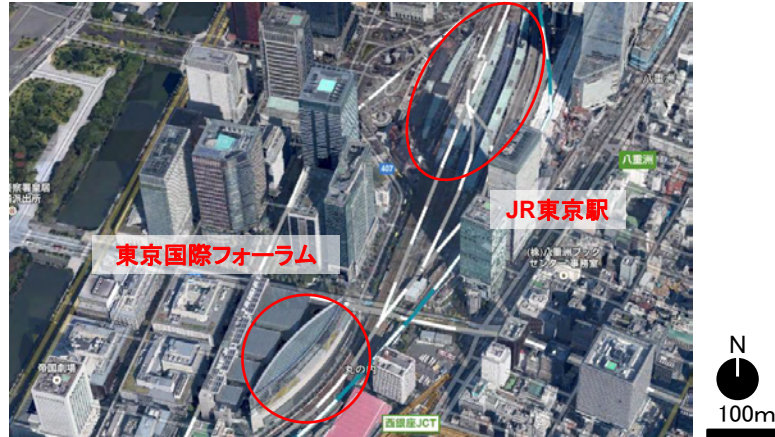
36

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

4. ホールのあるまち(都市開発の視点)

④ 街区となるホール

- 東京国際フォーラム



37

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

4. ホールのあるまち(都市開発の視点)

④ 街区となるホール

- 横浜みなとみらいホール(神奈川県横浜市)

- クラシックを中心とした音楽ホール(1998年開館)
- 大ホール(2,034席)、小ホール(444席)を有する
- ウォーターフロント都市再開発として整備されたみなとみらい地区に位置する



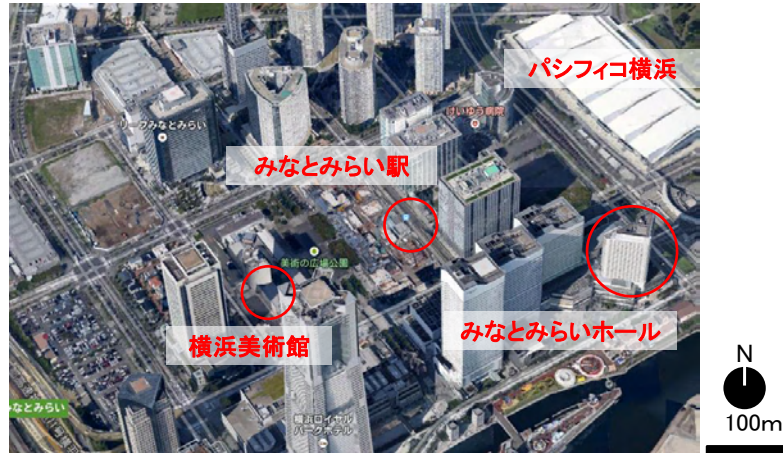
38

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

4. ホールのあるまち(都市開発の視点)

④ 街区となるホール

- みなとみらいホール



39

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

4. ホールのあるまち(都市開発の視点)

⑤ 町田駅前の再開発

- 原町田地区第1種市街地再開発事業(1972年～1980年)
 - 旧国鉄原町田駅と小田急線町田駅との間2.1haのエリアを対象
 - 旧国鉄原町田駅の移設(新町田駅の設置)
 - 区画街路ペDESTリアンデッキの設置



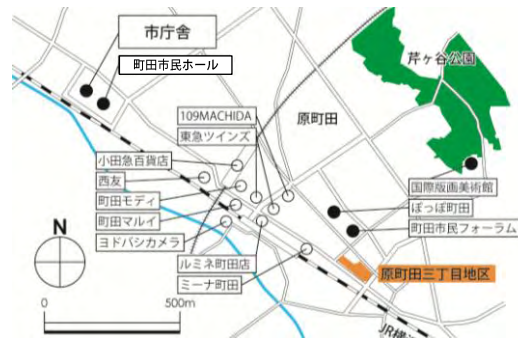
40

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

4. ホールのあるまち(都市開発の視点)

⑤ 町田駅前の再開発

- 原町田三丁目地区市街地再開発事業(1986年～1990年)
 - 旧原町田駅移設に伴い都市活動が停滞傾向にあった
 - 市立中央図書館とホテル・ザ・エルシィの複合ビルの建設
 - ペDESTリアンデッキの設置



41

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

4. ホールのあるまち(都市開発の視点)

⑤ 町田駅前の再開発

- 原町田四丁目地区市街地再開発事業(1988年～1999年)
 - 町田市民フォーラムとテナントなどからなる複合ビルの設置



42

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

4. ホールのあるまち(都市開発の視点)

⑤ 町田駅前の再開発

- 原町田六丁目地区市街地再開発事業(1994年～2002年)
 - 町田市生涯学習センター、テナントなどからなる複合ビルの設置



43

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

5. 文化芸術都市を標榜したまちづくり

○ 目次

① クリエイティブシティ戦略の概要

② ヨーロッパにおける事例

事例1: ニューカッスル市・ゲーツヘッド市(イギリス)

事例2: ロッテルダム市(オランダ)

事例3: リール市(フランス)

③ 日本における創造都市戦略

事例4: 横浜市(神奈川県)

44

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

5. 文化芸術都市を標榜したまちづくり

① クリエイティブシティ戦略

● クリエイティブシティ戦略の概要

- 文化芸術やクリエイティブ産業を通じた都市の産業・経済の再生手法(主としてヨーロッパ)
- 1990年代にヨーロッパの工業都市における産業の衰退・都市の荒廃がみられるようになる
- それら都市問題を踏まえ、地域資源の有効性と文化のもつ創造性に着目し、文化芸術の振興によって都市再生を図ろうとする都市経営手法
- 文化芸術の創造性を、①製造業から文化産業への転換、②創造性の高い住民の移住促進、③住民の課題解決に向けた自発的なアイデアと行動、④グローバル化のなかでの都市アイデンティティの確立、⑤都市の持続可能性につながるものととらえる
- 文化芸術の振興による産業構造の転換とそれに伴う人口集積を生み出そうとする

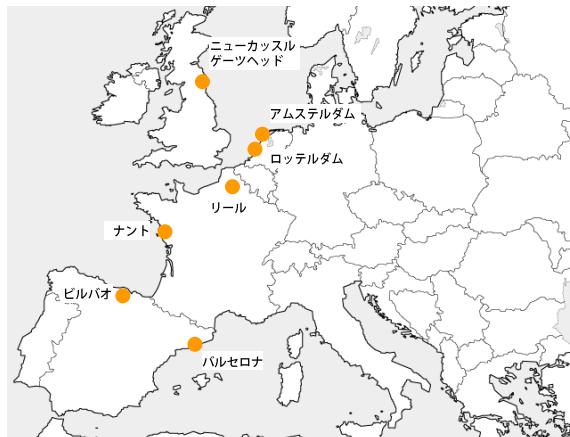
45

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

5. 文化芸術都市を標榜したまちづくり

① クリエイティブシティ戦略

● クリエイティブシティ戦略をとっている主要都市



46

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

5. 文化芸術都市を標榜したまちづくり

② クリエイティブシティの事例

- **ニューカッスル市・ゲーツヘッド市(イギリス)**
 - イギリス北部のニューカッスル市とゲーツヘッド市をまたぐ政策
 - 鉄鋼・造船で栄えたが、80年代に産業の衰退とともに都市が荒廃
 - 「北の天使」という巨大パブリックアート(高さ20m、幅56m)の設置を皮切りに、芸術文化による都市再生が取り組まれた
 - 巨大な鉄の彫刻に、鉄鋼・造船の技術が使われ、市民が誇りに感じるようになった
 - この成功を受け、両市のカウンシル(文化財団)と地域開発局(国家機関)が主体となって都市の再開発事業を行った



北の天使(アントニー・ゴームリ作)

47

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

5. 文化芸術都市を標榜したまちづくり

② クリエイティブシティの事例

- **ロッテルダム(オランダ)**
 - 犯罪の温床だったヴィッテ・デ・ヴィット地区を、都市の文化拠点として再生
 - 1990年前後に、住民団体とロッテルダム芸術財団、近隣開発会社が協力し、ギャラリーや芸術センターを設置することで「芸術街」として転進を図った
 - イベント等を重ねるなかで周辺にショップ・カフェ・ギャラリー等が集積し、文化度が上がり、文化芸術に関わる住民が増えた
 - 人的ネットワークが構築され、芸術文化と創造の街として再生



ヴィッテ・デ・ヴィット芸術センター

48

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

5. 文化芸術都市を標榜したまちづくり

② クリエイティブシティの事例

● リール(フランス)

- 2004年に、EUの支援の下で1年にわたって文化事業を集中的に展開する「欧州文化都市」に選定される
- 当時、工場やビール醸造所、病院などを文化センターとして改装し、継続してイベント等を実施
- 欧州文化都市に携わった文化芸術の専門家たちが活動を続ける結果となる
- 2004年、街中でオペラのコンサートなどが実施された結果、閉鎖されていたオペラ座が再開し、現在はフランス有数のオペラハウスとなる



オペラ座

49

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

5. 文化芸術都市を標榜したまちづくり

③ 日本における創造都市戦略

- 創造都市戦略を掲げる自治体例
 - 北海道札幌市…メディアアートによるブランディングと都市産業振興
 - 神奈川県横浜市(後述)
 - 新潟県新潟市…国際芸術展「水と土の芸術祭」を3年ごとに開催
 - 石川県金沢市…工芸などの伝統と21世紀美術館などの現代性
 - 兵庫県神戸市…デザイン都市・神戸を打ち出す
- 創造都市ネットワーク日本(CCNJ)
 - 創造都市(創造農村)の取組を推進する地方自治体等のネットワーク
 - 上記をふくむ38自治体、15団体からなる
- 創造都市ネットワーク(ユネスコ)
 - 2004年にユネスコがデザイン、文化、音楽などの分野で認定
 - 日本では神戸(デザイン)、金沢(工芸)、札幌(メディアアート)が認定

50

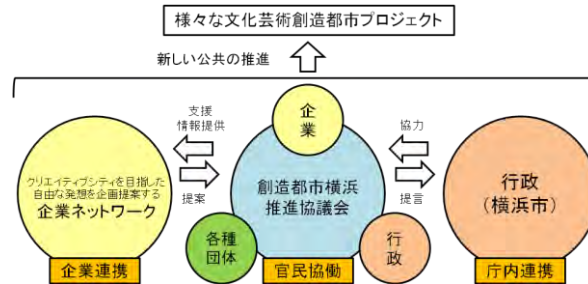
第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

5. 文化芸術都市を標榜したまちづくり

③ 日本における創造都市戦略

● 横浜市

- 2004年、中田前市長が都市再生ビジョン「文化芸術創造都市—クリエイティブシティ・ヨコハマの形成に向けて」を発表
- ①アーティスト・クリエイターが住みたくなる創造環境の実現、②創造的産業ネットワークの形成による経済活性化、③魅力的な地域資源の活用、④市民が主導する文化芸術都市づくり



51

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

5. 文化芸術都市を標榜したまちづくり

③ 日本における創造都市戦略

● 横浜市

- 旧・第一銀行、旧・富士銀行をリノベーションしたアートスペース BankARTを開館する
- その後、東京藝術大学映像研究科を同施設のひとつに誘致し、映像産業の活性化を図る
- BankARTは、郵政倉庫をリノベーションした建物で活動を継続(アートNPOが企画・運営にあたる)
- 港町・横浜の歴史資源を有効に活用した文化芸術振興を図る
- また、2001年より現代美術の国際展・横浜トリエンナーレを3年おきに開催する



BankART1929(旧第一銀行)

52

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

6. ホールと地域経済

○ 目次

①ホールを活用した集客イベント

②ホールの経済波及効果

事例1: 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール

事例2: 可児市文化創造センター

事例3: 北九州芸術劇場(福岡県北九州市)

53

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

6. ホールと地域経済

① 集客力のあるイベント

● ラ・フォル・ジュルネ東京

- 東京国際フォーラムを中心に金沢、新潟、大津、鳥栖で開催されるクラシックの祭典(毎年ゴールデンウィークに8日間開催)
- 1995年よりナント市ではじまり、2005年に日本で開始される
- 演奏会の選曲は、ナント市と同様ルネ・マルタン氏によって行われる
- 東京国際フォーラムでは、5つのホール、展示スペース、会議室、さらには大手町・丸の内・有楽町の様々なスペースで演奏会が開催
- 総来場者数は2007年の106万人をピークとして、2012年は46万人となっている(どちらも延べ数)
- 経済波及効果は81億円(2012年公式発表)



コンベンションホールでの演奏風景

54

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

6. ホールと地域経済

① 集客力のあるイベント

- サイトウ・キネン・フェスティバル松本
 - 音楽教育者・齋藤秀雄氏の没後10年となる1992年から毎年夏に長野県松本市で開催される音楽祭(毎年8月に1ヶ月間開催)
 - まつもと市民芸術館や長野県松本文化会館が会場となる
 - 指揮は主に小澤征爾が行い、齋藤氏にゆかりのある演奏家が臨時で編成するオーケストラが演奏する
 - 平成22～24年は9万人前後を集客してきたが、平成25年は雨天の影響で4.9万人に減少した(毎年屋外パレードで4万人を集客)



屋外パレードの様子

55

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

6. ホールと地域経済

① 集客力のあるイベント

- 瀬戸内国際芸術祭
 - 瀬戸内海の島々を舞台に開催される現代美術の国際芸術祭
 - トリエンナーレ形式で2010年より2回開催される(2010年は7～9月に100日程度、2013年は春夏秋に各30～40日開催)
 - 瀬戸内の島々を中心とした各地に展示される美術作品、アーティストや劇団・楽団などによるイベント、地元伝統芸能・祭事と連携したイベントなどで構成される
 - 主な会場は高松港周辺、直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島
 - 平成25年の来場者数は107.0万人(平成22年は約93.8万人)



瀬戸内国際芸術祭2013 開催概要

56

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

6. ホールと地域経済

① 集客力のあるイベント

● BBCプロムス2014

- イギリス・ロンドンで毎年夏開催される、8週間におよぶ一連のクラシック音楽コンサート・シリーズ
- 1895年8月10日、最初の「プロムス」コンサートが開催された。1942年から主な会場が現在と同じ「ロイヤル・アルバート・ホール」に変更され、BBC(英国放送協会)が運営を行っている
- 開催期間中は同ホールのほか、野外ホールなどで100以上のイベントが行われる
- 2012年の来場者数は30万人以上



コンサートの様子

57

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

6. ホールと地域経済

① 集客力のあるイベント

● 東京国際映画祭

- 毎年10月下旬に1週間、東京で開催される国際映画製作者連盟(FIAPF)公認の国際映画祭
- 総合映画祭ではなく長編作品のみを対象としている
- 1985年のスタート時は隔年開催で渋谷の映画館を中心に開かれていたが、1991年からは毎年開催されている。2014年は六本木ヒルズ(港区)、TOHOシネマズ 日本橋(中央区)ほか、都内の各劇場及び施設・ホールで開催予定
- 6名の国際審査委員が最優秀作品賞である“東京サクラグランプリ”を選出する「コンペティション」などのメイン企画をはじめ30以上の企画が開催される
- 2013年の映画祭の総入場者数は12.1万人



58

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

6. ホールと地域経済

① 文化芸術ホールの経済効果

- 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール
 - オペラ・バレエ等の舞台芸術専門ホール(1998年開館)
 - 大ホール(1,848席)、中ホール(804席)、小ホール(323席)を有する
 - 芸術監督を置き、専属の声楽団が所属する
 - 建設費 約250億円
 - 年度予算(県負担分) 約11.8億円(2007年度)
- 県内経済波及効果 約22.9億円(2007年度)
 - 生産誘発額(内訳)
 - 生産過程による効果 約9.1億円
 - 賃金による効果 約4.1億円
 - 来館者の消費による効果 約9.5億円
 - パブリシティ効果 約2.2億円



59

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

6. ホールと地域経済

① 文化芸術ホールの経済効果

- 可児市文化創造センター(岐阜県可児市)
 - 演劇を中心とした多目的ホール(2002年開館)
 - 主劇場(1,019席)と小劇場(311席)を有する
 - 館長に演劇批評家の衛紀生を迎える
 - 劇団文学座・新日本フィルハーモニー交響楽団と地域拠点契約を結ぶ
 - 建設費 約128.4億円
 - 年度予算(市負担分) 約4.7億円(2009年度)
- 県内経済波及効果 約5.3億円(2009年度)
 - 生産誘発額(内訳)
 - 生産過程による効果 約1.9億円
 - 賃金による効果 約1.5億円
 - 来館者の消費による効果 約1.9億円
 - パブリシティ効果 約0.5億円



60

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

6. ホールと地域経済

① 文化芸術ホールの経済効果

- 北九州芸術劇場(福岡県北九州市)
 - 複合商業施設に併設されたホール(2003年開館)
 - 大ホール(1,269席)と演劇を中心とした中劇場(700席)、小劇場(平土間、最大216席)
 - 独自に企画・創作した公演を多数実施するほか、人材育成を積極的に実施している
 - 建設費(劇場部分) 約146億円
 - 年度予算(市負担分) 約1.3億円(2008年度)
- 県内経済波及効果 約11.1億円(2008年度)
 - 生産誘発額(内訳)
 - 生産過程による効果 約11.1億円
 - 来館者の消費による効果 約7.2億円
 - パブリシティ効果 約1.2億円



61

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会

7. 委員からの事例紹介(2)

○ 目次

- ① オーバード・ホール(富山県富山市):西委員
- ② 東京芸術劇場(東京都豊島区):伊藤委員



62

第2回 文化芸術によるまちづくり座談会